

テレビやDVDの視聴時間が減少し、小学校では平均正答数が改善傾向にあり、全道平均に近づいています。

この、「好き、分かる」という児童生徒の割合は低い結果となりました。

「まん運動の推進に関する条例」に基づき、よりよい生活習慣が身につくよう家庭や地域・課題に応じた改善プランを策定し、教職員一丸となった学力向上に向けた取り組みを進め

○国語、算数・数学の2教科を出題

○平成28年4月19日実施

○主に「知識」に関するA問題と、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関するB問題を出題

A問題(知識に関する問題 全15問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.9問少ない
- ◆15問中4問が全道平均を上回っている
- ◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識・理解・技能の領域すべてが全道平均を下回っている
- ◆特に漢字の書き、ローマ字の読み書きの正答率が低い

小学校国語

B問題(活用に関する問題 全10問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.7問少ない
- ◆10問中1問が全道平均を上回っている
- ◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識・理解・技能の領域すべてが全道平均を下回っている
- ◆要旨を捉えてまとめ、自分の考えを書く記述式の正答率が低い

A問題(知識に関する問題 全16問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.9問少ない
- ◆全16問中すべて全道平均を下回っているが、数の大小を比較する不等号の理解が同等である
- ◆数と計算、量と測定、図形、数量関係の領域すべてが全道平均を下回っている

小学校算数

B問題(活用に関する問題 全13問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.9問少ない
- ◆13問中1問全道平均を上回っている
- ◆数と計算、量と測定、図形、数量関係の領域すべてが全道平均を下回っている
- ◆数学的に考え、その理由や求め方を書く記述式の正答率が低い



生活の様子(小学校児童質問紙の分析結果)

★家庭生活に関する質問★

- 平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る児童の割合→**37.9%** (全道36.5%・全国32.8%)
- 平日1日あたり3時間以上ゲームをする児童の割合→**24.2%** (全道21.2%・全国16.0%)
- 平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童の割合→**27.4%** (全道23.2%・全国18.5%) ※3時間以上→**10.6%** (全道8.1%・全国5.8%)
- 平日1日あたり1時間以上勉強する児童の割合→**45.3%** (全道54.7%・全国62.5%)
- 〃 2時間以上 〃 →**11.6%** (全道11.5%・全国14.7%)
- 〃 3時間以上 〃 →**5.3%** (全道5.7%・全国10.8%)
- 〃 まったく勉強しない →**4.2%** (全道2.6%・全国3.0%)
- 土・日 まったく勉強しない →**9.5%** (全道8.3%・全国10.2%)

- ・質問紙からは、昨年と比較して家庭学習の習慣化は若干下降気味となっておりますが、特に近づきつつあります。また、平日に全く勉強をしない児童・生徒の割合も減少傾向に
- ・国語や算数・数学の学習は「大切、将来役に立つ」と考える児童生徒の割合は高いもの
- ・教育委員会では、平成28年2月に制定した「日高町生きる力を育む早寝早起き朝ごはん」を学校と連携し、取り組みをさらに進めていきます。また、各学校においては、学校の課題に取り組んでいます。

《調査の概要》

○町内全小学6年生、中学3年生の児童生徒を対象に実施(小学校5校 95名、中学校4校 99名)
○ほかに生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査を行った(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

A問題(知識に関する問題 全33問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1.8問少ない
- ◆33問中2問全道平均を上回っている
- ◆話す・聞く能力、書く能力、読む能力、言語についての知識・理解・技能の領域すべて全道平均を下回っている
- ◆文書を書くために必要な漢字を書く、語句の意味を理解し、適切に使う設問の正答率が低い

中学校国語

B問題(活用に関する問題 全9問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり0.8問少ない
- ◆9問中すべて全道平均を下回っている
- ◆国語への関心・意欲・態度、書く能力、読む能力の領域すべて全道平均を下回っている
- ◆要旨を捉えてまとめて、根拠を明確にして伝えるように自分の考えを書く記述式の正答率が低い

A問題(知識に関する問題 全36問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり3.4問少ない
- ◆36問中1問全道平均を上回っている
- ◆数と式、図形、関数、資料の活用の領域すべて全道平均を下回っている
- ◆特に反比例、一次関数の理解の正答率が低い

中学校数学

B問題(活用に関する問題 全15問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人当たり1問少ない
- ◆15問中1問全道平均を上回っている
- ◆数と式、図形、関数、資料の活用の領域すべて全道平均を下回っている
- ◆数学的に考え、その理由や求め方を説明する、筋道を立てて証明するなどの記述式の正答率が低い



生活の様子(中学校生徒質問紙の分析結果)

★家庭生活に関する質問★

- 平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る生徒の割合→**31.4%** (全道25.8%・全国24.1%)
 平日1日あたり3時間以上ゲームをする生徒の割合→**42.4%** (全道23.1%・全国18.9%)
 平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒の割合→**59.6%** (全道51.9%・全国47.8%) ※3時間以上→**32.3%** (全道20.6%・全国16.6%)
 平日1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合→**51.4%** (全道61.9%・全国67.9%)
 " 2時間以上 " →**14.1%** (全道21.7%・全国24.8%)
 " 3時間以上 " →**3.0%** (全道6.9%・全国9.4%)
 " まったく勉強しない " →**8.1%** (全道7.6%・全国5.5%)
 土・日 まったく勉強しない →**20.2%** (全道12.2%・全国11.0%)